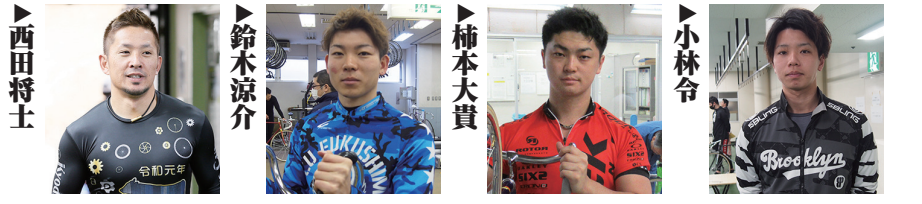


FII サンケイスポーツ杯
モーニング7

5/6土7日8月



実績を重視し小林令から

混戦必至の優勝争いだが、柿本大貴、渡辺航平、佐山俊樹の地元埼京勢や小林令とそろった関東勢が優位にレースを運びそう。本命には実績重視で小林を推す。降級3カ月でVがなかったのはやや意外だったが、準Vが4回で、決勝で確定板を外したのは僅かに1回と安定感はずが。ヨコの動きに頼らずタテ脚でも勝負になるので、埼京勢と別線になっても勝つイメージを持ってレースは組み立てられるだろう。立川の長い直線を突き抜けてくるか。もちろん、ラインの厚みで勝負できる埼京勢を狙ってもいい。先導役の柿本は今年初のホーム戦に燃える。1月松戸でV、2月小田原で準Vと近況は安定している。機動力をフルに発揮できそうな今シリーズは絶好のVチャンスとも言

えそう。渡辺も1月小松島でVと目標をつかめばしっかりしているし、佐山も差し脚がアップして今年はヒットを連発している。3人で上位独占まで狙えそう。完調なら鈴木涼介、尾形鉄馬ら北勢が中心のシリーズに一変するかも。S級でもバックを取る競走に徹してきた鈴木スピードはひと味違うし、尾形もS級でコンスタントに勝ち上がっていた鋭脚の持ち主で、降級の今期も1月伊東の完全Vでスタートしている。ただ、鈴木は3月当所で落車し、尾形も2月松戸の落車から欠場が続いている。西の遠征では西田将士が好気合。3月松山では工藤文彦のまくりを差して優勝もしている。目標手薄なシリーズで、いざとなれば自力も出せるタテを脚を駆使して難局を打開していく。

出場予定選手データ											
級別	氏名	登録地	期別	直近4ヶ月 競走得点	直近10場所の成績	決り手	級別	氏名	登録地	期別	直近4ヶ月 競走得点
A1	梶原弘樹	愛媛	57期	84.77	2 6 6 15 0	0	A1	田口守	山口	94期	81.95
	高谷雅彦	青森	67期	89.17	9 5 0 13 2	0		伊藤彰規	神奈川	96期	87.14
	遠藤勝行	静岡	73期	87.38	4 5 4 16 0	0		佐山俊樹	埼玉	97期	90.21
	渡辺航平	東京	79期	90.04	9 4 4 12 0	0		楠野史実	埼玉	105期	82.08
	川村昭弘	新潟	81期	84.13	2 3 5 19 0	0		西田将士	長崎	105期	93.05
	土屋仁	茨城	84期	82.96	3 5 3 18 1	0		尾形鉄馬	宮城	107期	95.00
	柏木伸介	静岡	84期	91.33	5 5 3 13 0	0		小林令	山梨	109期	95.28
	平石浩之	茨城	87期	88.40	2 7 9 10 0	0		太田得成	宮城	113期	88.21
	守谷陽介	岡山	87期	89.43	2 5 2 21 1	0		柿本大貴	東京	113期	91.79
	房州輝也	福島	91期	81.00	3 0 6 19 2	0		渡邊直弥	静岡	113期	82.29
A2	木田有隆	福島	92期	76.33	0 0 0 3 0	0	A2	鈴木涼介	福島	115期	91.71
	宮本龍一	福岡	92期	83.83	5 5 4 16 6	0		渡邊藤男	栃木	57期	80.24
	阿部功	高知	93期	81.96	2 3 5 19 0	0		渡邊満	福岡	73期	81.95

たちかわ バンクガイド

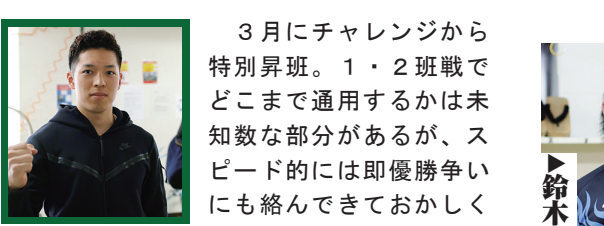
風は一般的に『バック向かいホーム追い』と言われるが、4角の建物が解体された影響で「常に向かい風を受けている感じ」や「ホームの風がより強く感じる」との声も。19年11月にバンクを改修しウォークトップを塗り直すも、重い走路は変わらず。直線も長く先行屋には厳しい条件が揃う。対照的に追込型は、コース取り次第で後方からでも突っ込む事が可能。

みなし直線	58.0m	最大カント	31° 13' 06"
上がり最高	10秒6 深谷知広	脇本雄太	
		(2013.03.23)	(2022.08.24)
歴代最大配当	三連単 8-9-4	3,715,420円	(2010.10.15 5 R.)



コーナー部が短くカントはきつい
ゴール線 見なし直線 直線が長くバンクは重い
1角 4角
1センター 2センター
2角 3角
競りはインがやや有利
バック向かい風。冬場は特に強い
捲りになっても外に浮きにくい

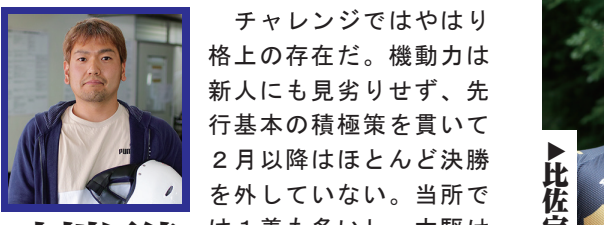
A級 推奨選手



加藤将武
【埼玉・121期】

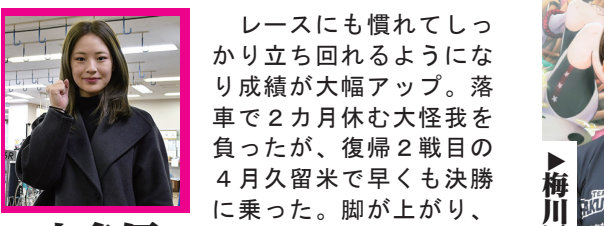
3月にチャレンジから特別昇班。1・2班戦でどこまで通用するかは未知数な部分があるが、スピード的には即優勝争いにも絡んできておかしくない。地元地区の一戦で旋風を巻き起こすか。

チャレンジ 推奨選手



天野純平
【佐賀・115期】

チャレンジ 推奨選手



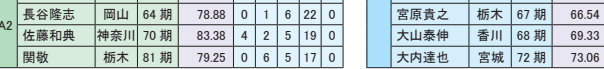
小川辰徳
【埼玉・100期】

チャレンジ 推奨選手



本多優
【群馬・120期】

チャレンジ 推奨選手



梅川風子

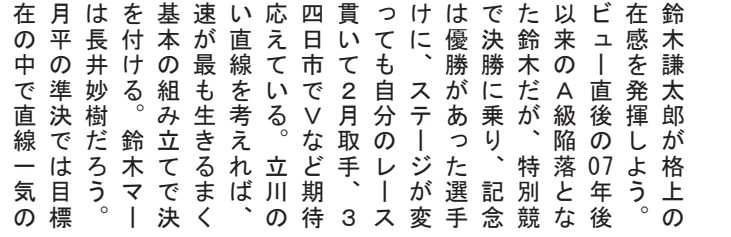
レースにも慣れてしっかり立ち回れるようになり成績が大幅アップ。落車で2カ月休む大怪我を負ったが、復帰2戦目の4月久留米で早くも決勝に乗った。脚が上がり、常に連の対象になる。

2023年4月4日時点

FII GIRLS KEIRIN デイリースポーツ杯

5/1月2火3水祝

関東コンビに期待も激戦



鈴木謙太郎が格上の存在感を発揮しよう。デビュー直後の07年後期以来のA級陥落となった鈴木だが、特別競輪で決勝に乗り、記念では優勝があった選手だけに、ステージが変わっても自分のレースを貫いて2月取手、3月四日市でVなど期待に込めている。立川の長い直線を考えれば、快速が最も生きるまくり基本の組み立てで決着を付ける。鈴木マークは長井妙樹だろう。3月平の準決では目標不在の中で直線一気の

A級 1・2班戦

3名参戦する121期勢の中でも比佐宝太の機動力が一枚抜けている。上も見据えて駆け方を覚えてみたり試行錯誤してきたが、決勝で勝ち切れない課題を克服して2月には前橋、松戸を連覇している。ここも強い気持ちで主導権を奪って勝負し、押し切りを目指す。高橋優斗、瀬口匠の九州勢からも狙える。最近のレースも見えてきた高橋が好機にスパートなら瀬口と連独占という。眞砂英作は地脚を生かした先行策が売り。すんなり駆けさせると怖い。

A級 チャレンジ戦

ナショナルチームで鍛えられ、男子なみの快速を誇る地元の梅川風子が主役。3月小田原は11③着と先に仕掛けた児玉碧を捕らえられなかったが、競技優先のスケジュールでレース勘が今一つだったのは仕方がない。今年3戦目のここは狙いすました一撃を決める。尾崎睦も2カ月走れなかった影響で本調子ではない。今は積極策を多用して脚を戻している最中だ。なら、仕掛けるべきところで動いている野本伶菜にも勝機は十分か。増田夕華も侮れない。

地元の梅川風子が決める



梅川風子

チャレンジ 推奨選手

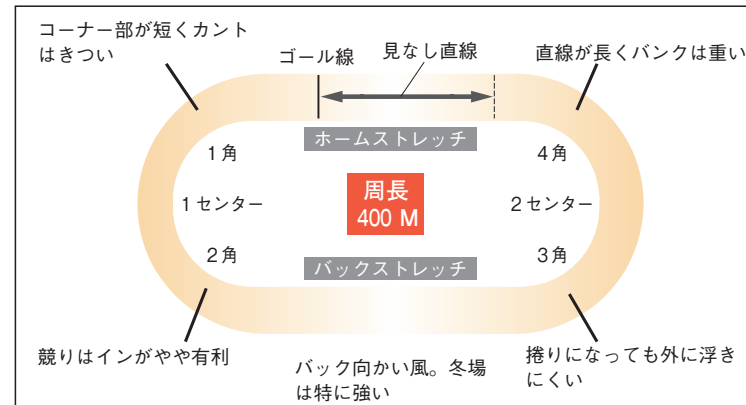


本多優

2023年4月5日時点

出場予定選手データ

級別	氏名	登録地	期別	直近4ヶ月 競走得点	直近10場所の成績	決り手
A1	梶原弘樹	愛媛	57期	84.77	2 6 6 15 0	0
	高谷雅彦	青森	67期	89.17	9 5 0 13 2	0
	遠藤勝行	静岡	73期	87.38	4 5 4 16 0	0
	渡辺航平	東京	79期	90.04	9 4 4 12 0	0
	川村昭弘	新潟	81期	84.13	2 3 5 19 0	0
	土屋仁	茨城	84期	82.96	3 5 3 18 1	0
	柏木伸介	静岡	84期	91.33	5 5 3 13 0	0
	平石浩之	茨城	87期	88.40	2 7 9 10 0	0
	守谷陽介	岡山	87期	89.43	2 5 2 21 1	0
	房州輝也	福島	91期	81.00	3 0 6 19 2	0
A2	木田有隆	福島	92期	76.33	0 0 0 3 0	0
	宮本龍一	福岡	92期	83.83	5 5 4 16 6	0
	阿部功	高知	93期	81.96	2 3 5 19 0	0



コーナー部が短くカントはきつい
ゴール線 見なし直線 直線が長くバンクは重い
1角 4角
1センター 2センター
2角 3角
競りはインがやや有利
バック向かい風。冬場は特に強い
捲りになっても外に浮きにくい

2023年4月5日時点